



NEWS RELEASE

2026.9.24

「令和 8 年 熊本地震に対する“最適化栄養食”での支援」 日本最適化栄養食協会は、熊本県と連携して 最適化栄養食「冷凍 完全メシ DELI ジェラート」を被災地へ提供

一般社団法人 日本最適化栄養食協会（理事長：伊藤 裕）は、2026 年 9 月 12 日（土）、19 日（土）の両日、熊本県八代市、宇城市、熊本市、美里町で避難生活を送っている方々に“最適化栄養食”「冷凍 完全メシ DELI ジェラート」（6 種）を提供させていただきました。

日中いまだ 30℃を超える日が多い熊本県の避難所へ 33 種類の栄養素のバランスが適切に調整された“最適化栄養食”のジェラートを提供



避難生活を送る方にジェラートを提供する様子



支援物資のジェラートを納品する様子

7 月 28 日（火）午後、熊本県において最大震度 7 を観測する大規模な地震が発生しました。被災された皆様、ならびに関係者の皆様に、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早く関係者の皆様の安寧が取り戻されることを祈念申し上げます。

一般社団法人 日本最適化栄養食協会では、かねてより発災後に生じる栄養の偏りによる健康課題の解決に向けた取り組みを推進してまいりました。その取り組みを通じて“災害支援食”として有用であるとの理解も広がり、現在は熊本県人吉市を含む 4 つの自治体と災害発生時に“最適化栄養食”の手配を支援する災害協定を締結しております。

この度、当協会の申し出に対し熊本県健康福祉政策課にご協力いただき、避難所と調整の上、熊本県八代市、宇城市、熊本市、美里町の避難所 26 箇所に、主要な栄養素がバランスよく適切に調整された“最適化栄養食”の「冷凍 完全メシ DELI ジェラート」を約 2,000 食提供しました。

「冷凍 完全メシ DELI ジェラート」を受け取った方からは「厳しい残暑が続く中、冷たいものが食べられることが本当に嬉しい。このような、状況に合わせた支援を受けたかった。」との声が寄せられました。

当協会といたしましては、今後も会員企業の皆様と力をあわせ、被災された方々ならびに現地で支援活動にあたられている方々に対し、最適化栄養食を通じた支援を続けてまいります。



■「一般社団法人 日本最適化栄養食協会」について

1. 目的

年齢や性別、生活習慣など、一人ひとりの状態に合わせて主要な栄養素がバランスよく適切に調整された食を通じ、人々のウェルビーイング（身体的・精神的・社会的に良好な状態にあること）に資することを目的として、次の事業を行います。

2. 事業内容

- (1) 最適化栄養食及びその評価に関する規格化
- (2) 最適化栄養食の栄養設計基準登録、製品認証
- (3) 最適化栄養食に関する調査研究
- (4) 最適化栄養食の普及に関する活動
- (5) 前各号に掲げるもののほか、当協会の目的を達成するために必要な事業

■「最適化栄養食」とは

最適化栄養食とは、年齢や性別、生活習慣などに応じて、一人ひとりの状態に合わせて主要な栄養素がバランスよく適切に調整されていて、ターゲットとする対象者における健康に与える影響がヒト試験などで検証された食です。日本最適化栄養食協会では最適化栄養食の栄養設計を登録し、製品認証を行ってきました。

■「最適化栄養食」認証マークについて

「最適化栄養食」認証マークは、当協会に登録された栄養設計基準を過不足なく満たすことのできた製品にのみ付与されます。



■「一般社団法人 日本最適化栄養食協会」ウェブサイト

[URL] <https://www.saiteki-eiyo.org>

このリリースに関するお問い合わせ先

「一般社団法人 日本最適化栄養食協会」
東京都渋谷区千駄ヶ谷三丁目 50 番 11 号
contact@saiteki-eiyo.org